

還ってきたY先生

真光寺川を清流にする会 山口拓郎

<http://www.shinkojigawa.com/>

一斉に花々が咲競う春爛漫の季節も去り、日々緑を増す夏の季節を迎えています。3月初旬、思いがけずY先生からお電話を頂きました。Y先生は「真光寺川を清流にする会」が発足した当時、鶴三小に勤務されていました。時あたかも「ゆとり教育」がスタートした時期でもあり、その一環として子供達と真光寺川を訪れ、熱心に体験学習に取り組まれた方でした。我々との交流を深めていましたが、数年前他校へ異動されてしまいました。お電話の趣旨は「真光寺川とはすっかりご無沙汰していたが、この春定年を迎える予定で時間的に余裕ができるので、清流の会の活動に参加したい。」と云うことでした。私どもとしては何とも嬉しく心強いお話です。先生は早速4月の例会から教え子と一緒に参加されることになりました。

{3月上旬}

日の出6:11。晴5日、曇4日、雨1日。春はまだ浅い。朝方は冷え込む。とりわけ晴天の日は大地は厚い霜で凍てついている。それでも日中は概ね20度を超すポカポカ陽気の日がある。季節は確実に春に向かっていく。ユキヤナギがほころび始める。セキレイは何時見ても軽快だ。コサギが優雅な姿を見せることがある。藻は寒さにもめげず益々元気だ。断片が漂う日が多い。

3月4日(金)Y先生から電話
Y先生から久しぶりの電話がある。3月に定年を迎えられるので真光寺川の清掃作業に参加したい由。最近の会の活動を知りたいので、近日伺いとのこと。大歓迎である。

3月9日(水)Y先生来訪
Y先生が見える。往時の話に花が咲く。又最近の会の活動として和光大学の堂前先生等の話を伺い、水質だけにこだわらず幅広く川の生態系に関心をもち取り組んでいることを説明する。和光大学の環境活動のサークル「川道楽」に興味を示された。4月の例会から参加し、できたら教え子を誘ってみたいと云うことだった。

3月10日(木)一木会
18時、魚民で開催。6名参加。
議題：①真光寺川通信・4月号記事②ボランティアセンター主催・ボランティア募集の催し③全国水質検査④市民大学体験講座
Y先生の参加の件も報告する。

{3月中旬}

日の出5:59。晴3日、曇6日、雨1日。季節は一進一退、前半は冴えない天気が続く。後半ようやく春らしい陽気が廻ってきた。ユキヤナギの花が地下から湧き出るように一斉に咲き揃う。時折、満開のハナモモに数羽のムクドリが群れていることがある。また下堰の下手の辺りでコサギが餌を

啄んでいることがある。藻は相変わらず川底に分厚く張り付いている。

3月13日(日)清掃作業
曇やや膚寒い。クレインライオンズクラブの会員9名と吉原都議の峰岸秘書が参加して下さる。3月振りの清掃なので多量のゴミを回収する。ゴミ29袋。バイクの一部。衣装ケース等多量のゴミを回収する。

{3月下旬}

日の出5:45。晴9日、曇2日、雨0。晴天が続く。気温も春めいて過ごしやすくなっていく。ほぼ平年並みの「サクラの開花宣言」がある。権現橋さきのサトザクラも固い蕾がほころび、あっと云う間に満開になる。ハナモモ、ユキヤナギ、ミツバツツジも一斉の咲き競い將に春爛漫である。ムクドリが群れて花を啄んでいる。コサギも時折優雅な姿を見せる。藻は相変わらず川底に張りつき階段際に断片が漂う。水面すれすれにブトが群がっている。

3月25日(金)ボランティア説明会
ポプリホールでボランティアセンター主催の説明会が実施される。鶴川地区の市民団体を順に紹介し参加者を募る試みだそう。今回は「真光寺川を清流にする会」と「結いの会」が対象となった。エコネット町田の瀬川会長が会の活動を紹介し、熱心に参加者を呼びかけて下さる。出席者はさほど多くなかったが手応えを感じる。

{4月上旬}

日の出5:28。晴1日、曇6日、雨3日。晴天が続いた3月下旬に引き替え雨や曇天の冴えない天候が続く。折角の満開のサクラが勿体ない。ユキヤナギ散り始める。産卵期を迎えているのだろうか、コイが小さな群をなし体をすりあわせながら激しく

動き回っている。ある朝、アオサギが下堰橋の下に飛来した。藻の断片は増水で流れ姿を消す。

4月7日(木)通信発行と一木会
雨が激しく降っている。14時から三輪市民センターで真光寺川通信を印刷する。3名出席。学校とクレインライオンズクラブに配布する。18時から魚民で一木会、5名出席。「真光寺川まつり」の行事内容や広報の方法等について意見を交わす。

4月10日(日)清掃作業
曇、気温は高い。絶好の清掃日和である。Y先生が教え子A君と見える。A君は卒業の文集で将来「漁師になりたい」記したほど魚の好きな青年である。現在、大学3年生だと云う。他に先日のポプリホールでのボランティアセンター開催の会合に出席された方が3名加わる。参加者15名。ゴミ22袋を回収。終わってA君が投網を打つ練習をする。Y先生から和光大学の「川道楽」を紹介してほしいと依頼がある。

{4月中旬}

日の出5:15。晴7日。曇3日。雨0日。ようやく春らしい日和が続く。サクラは花吹雪を見せながら散っていく。流れに花びらが花筏を作っている。換わってハナミズキ、シダレザクラが満開を迎える。フジの花房もふくらむ。スズメが時折群をなしている。産卵期を迎えているのだろうか。或朝、コイが激しく体をぶつけあっていた。藻は繁茂し断片を浮かべている。

{4月下旬}

日の出5:02。晴8日。曇2日。雨0日。



天気は安定し、うららかな春日和が続く。熊本地区大地震、日本は4大プレートの上に横たわっている。何時、何処で、どんなに大きな地震があっても不思議ではない。のどかな春日和ががつがつありがたい。フジ、ツツジ満開。ハナミズキ散り始める。ブトやミズスマシが群れる。藻は川底一面に張り付いている。

4月22日(金)「川道楽」のSさんへ電話
以前、和光大学でお目にかかったSさんに電話しY先生の意向を伝える。「川道楽」の活動予定と場所をお聞きする。

{5月上旬}

日の出4:49。晴6日。曇4日。雨0日。ゴールデンウィークに入る。天気は恵まれる。気温はぐんぐん揚がり初夏を思わす陽気となる。ハナミズキ、フジは散り新緑が目に見えやかである。キショウブが咲き始める。ツバメが飛び交うようになる。いつか黄金色のコイが1匹混じっていたが、ある日ふいと消えてしまった。藻は繁殖期を迎えたか断片が川面一面に漂う。

4月6日(金)一木会
18時から魚民で開催。出席5名。議題は「まつりのPR」、市民大学・環境講座、全国水質一斉調査等。

4月8日(日)清掃作業
快晴日射しが強い。風はさわやかで快い。参加15名。Y先生もA君と参加。「川道楽」とうまく連絡がとれたそう。A君が矢崎橋の下の瀬に先日下堰から消えた黄金色のコイを発見する。ゴミ18袋、バレーボールや発泡スチロール板等。A君の投網打ちはかなり上達してきた。

{5月中旬}

日の出4:40。晴7日。曇2日。雨1日。すっかり夏の気候。高い気温の日が続く。ブラッシ花が、一斉に開花。南国的で華やか。キショウブは最盛期。地味なイバラやゴリンバイが思いがけずきれいな花を開花する。ツバメが水面を低く飛び交う。藻の断片は雨で流れ去る。

{5月下旬}

日の出4:32。晴7日。曇3日。雨1日。今年は暑い夏か、早々と真夏日を記録する。ブラッシバナ、キショウブ散る。ドクダミ一面に満開。アジサイ色づき始める。或朝1尺余りナマズが遊泳していた。またシマヘビであろうか4尺程のヘビが川下へスルスルと泳ぎ去っていった。藻は川底に張り付いている。(この項おわり)